


2009ERINA Policy Proposal Seminar  
「北東アジア新時代」への政策提言  
2009年3月18日

An aerial view of the Earth from space, showing the curvature of the planet and the blue oceans. The sun is visible in the upper left, creating a lens flare effect.

# 北東アジアの物流 — シームレス化への課題と展望

(財)環日本海経済研究所(ERINA)

調査研究部 新井洋史

ERINA

## 北東アジアの物流 — シームレス化への課題と展望

### 1. 「北東アジア輸送回廊ビジョン」

- ・提案の概要
- ・域内物流の重要性

### 2. シームレス化へ向けた取組

- ・緩芬河輸送回廊を例として
- ・図們江輸送回廊を例として
- ・国際協力の枠組

### 3. 課題と展望

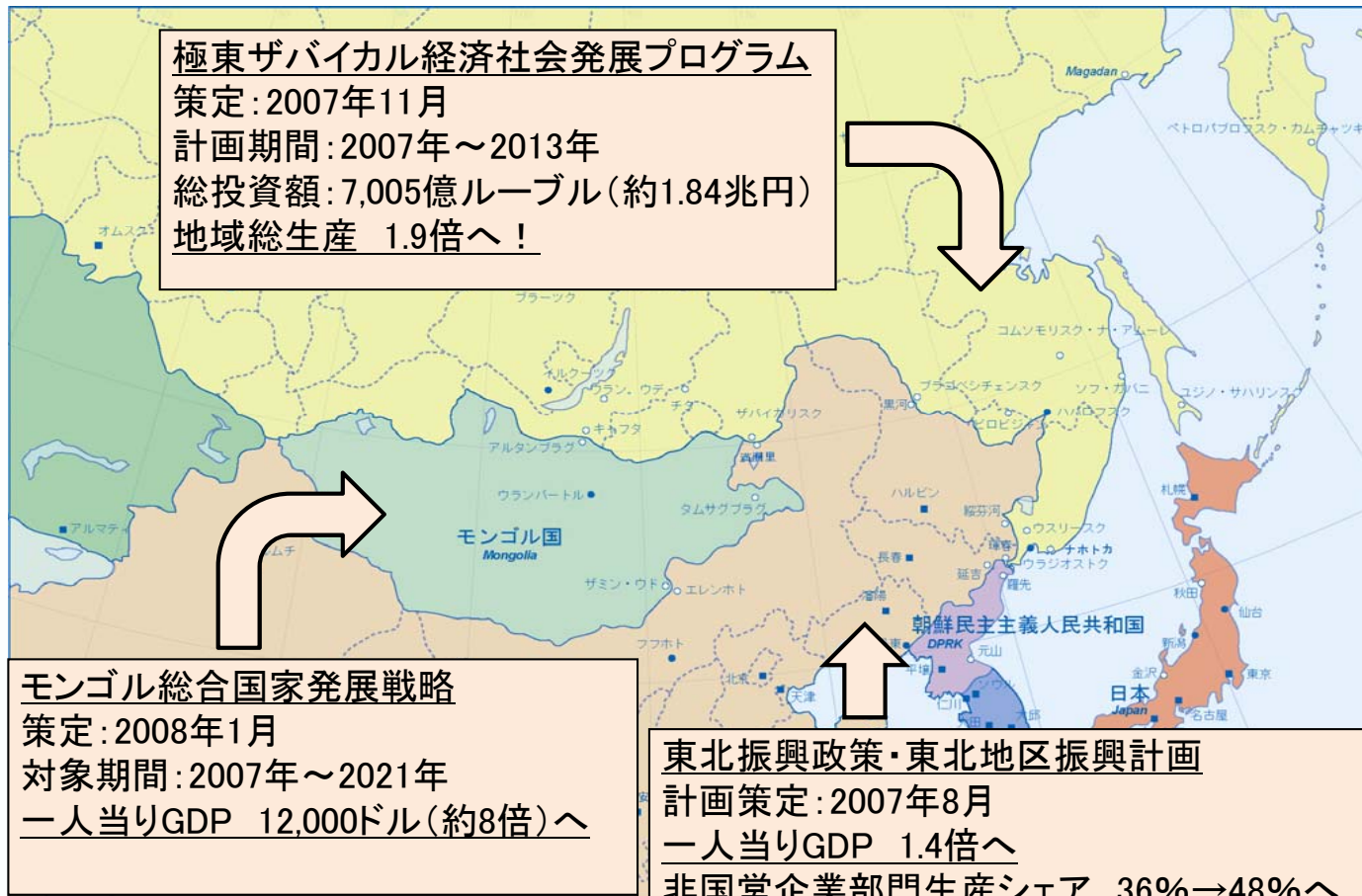
- ・課題の整理
- ・シームレス化の促進のための提案

ERINA

# 1. 「北東アジア輸送回廊ビジョン」



## 北東アジア域内物流の重要性

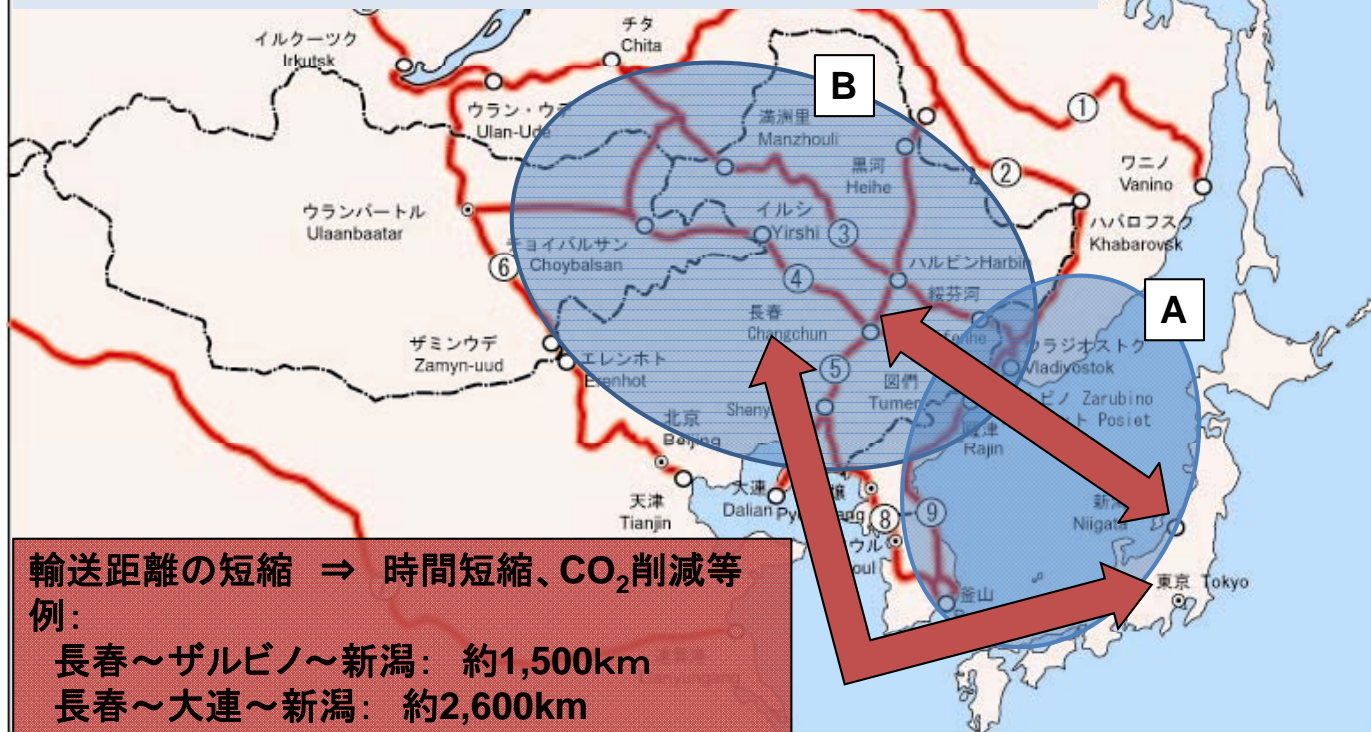


## 域内物流シームレス化の視点

[A] と [B] をロシア極東港湾経由で結ぶ域内物流に焦点

[A]日本海に面する「日本」+「韓国」

[B]大陸側での背後圏を形成する「中国東北地区」+「モンゴル」



輸送距離の短縮 ⇒ 時間短縮、CO<sub>2</sub>削減等  
例:

長春～ザルビノ～新潟: 約1,500km

長春～大連～新潟: 約2,600km

### 域内物流を担う輸送回廊



©ERINA

# ERINA

## 2. シームレス化に向けた取組

類型	主なプロジェクト	現状
鉄道・道路整備	綏芬河～満洲里高速道路、琿春～ウランホト高速道路、モンゴル東部鉄道網 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国国内インフラ整備は進行中。四兆元の景気刺激策により、整備加速。</li> <li>・モンゴル東部鉄道網は、計画段階。</li> <li>・ロシア国内は、部分的な改修事業のみ。</li> </ul>
国境通過点の整備	国境駅拡張、税関施設拡張、開庁時間延長など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中露国境においては、ロシア側の処理能力が低く、さまざまな改善計画、構想あり。</li> </ul>
港湾整備	ポスターチヌイ港、ウラジオストク港、トロイツァ港整備など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウラジオストク港では、既存コンテナターミナル拡張、改良によって取扱能力向上。</li> <li>・各港の新規埠頭建設については計画段階。</li> </ul>
結核開設	ザルビノ、新洞、吉草コ	それぞれの事業主体となる企業において

## 綏芬河輸送回廊

### 「綏芬河輸送回廊」

チタ(ロシア)～ザバイカリスク(ロシア)～満洲里(中国・内モンゴル)～ハルビン(中国・黒龍江省)～綏芬河(中国・黒龍江省)～グロデコボ(ロシア)～ウラジオストク/ナホトカ等(ロシア)～日本/韓国





## 複合一貫輸送

### 国際臨海開発センターの輸送実験

2007年2月～4月

酒田～釜山～ポストーチヌイ～ハルビン

◎コンテナ貨物輸送を完遂

▲コストが割高

▲日数は65日

### 牡丹江市の輸送実験

2007年9月～10月

牡丹江～ウラジオストク～上海

◎コンテナ貨物輸送を完遂

▲コストが割高

▲日数は23日

### 課題

通関等でのルールが未確立 & 積み上げ型の運賃計算

### 韓国企業グループの取組

2008年11月 MOU締結

釜山港湾公社・現代宅配が極東輸送グループ(ロシア)と共に、牡丹江市の内陸デポ建設に参画。

牡丹江～ナホトカ～韓国のルートを想定。

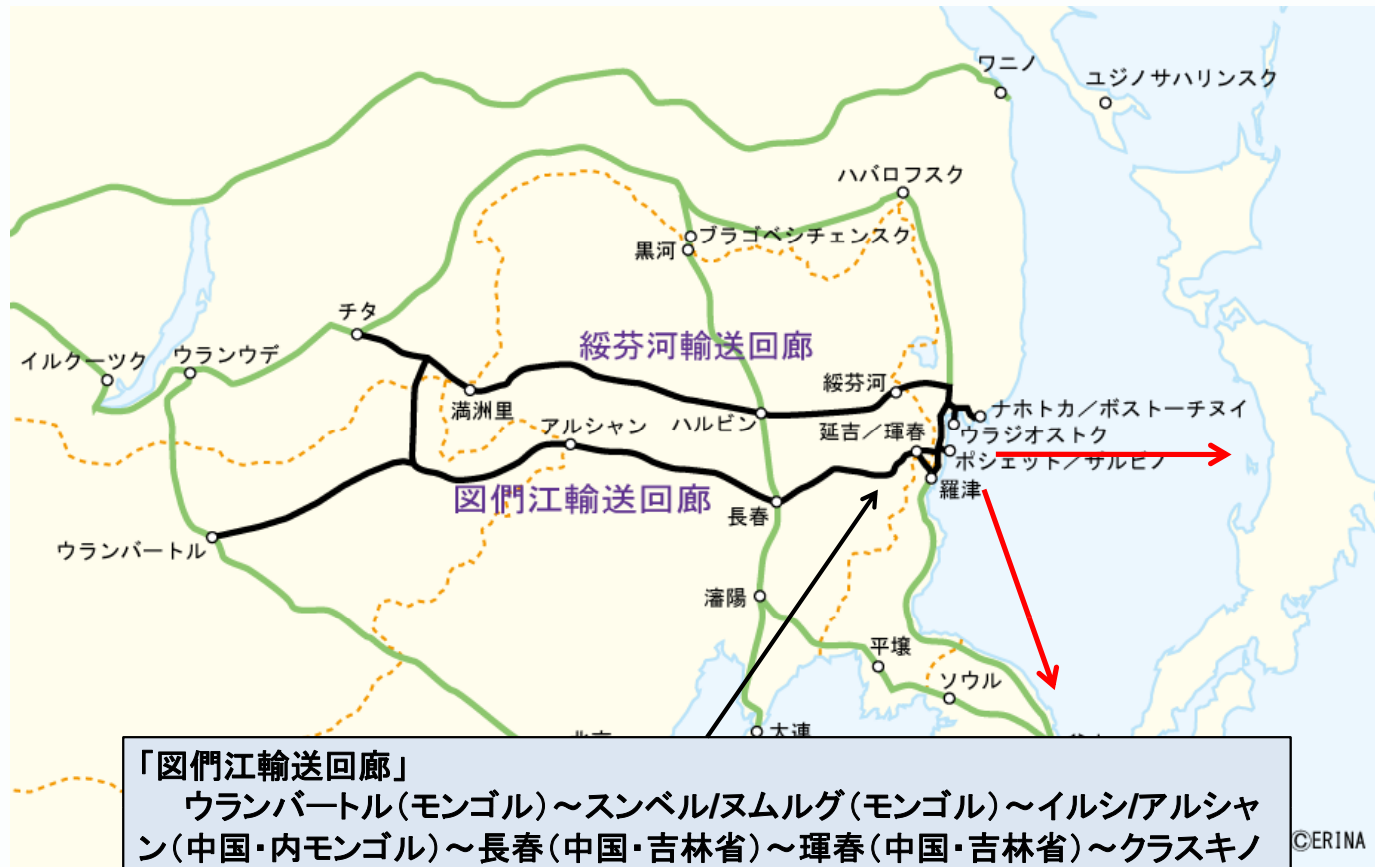
ERINA

緩芬河互市貿易区



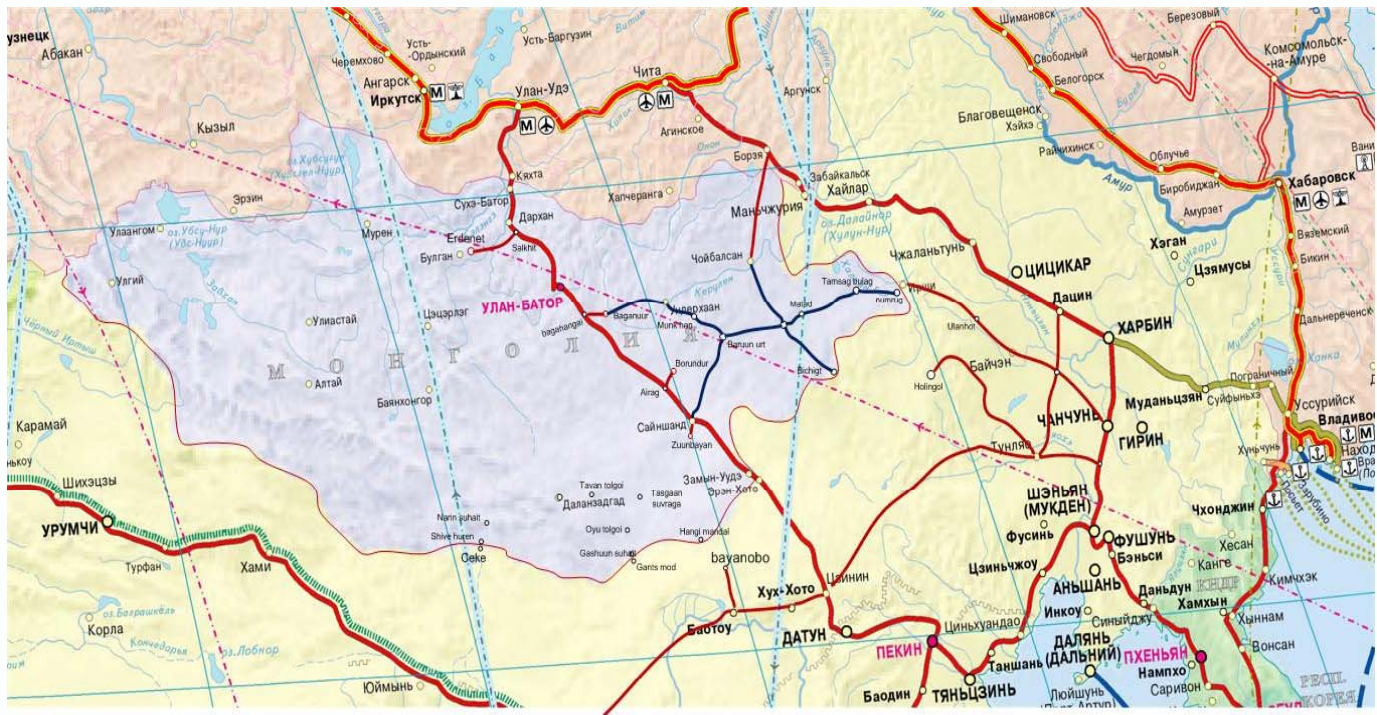
ERINA

図們江輸送回廊



「図們江輸送回廊」  
 ウランバートル(モンゴル)～スンベル/ヌムルグ(モンゴル)～イルシ/アルシャ  
 ン(中国・内モンゴル)～長春(中国・吉林省)～琿春(中国・吉林省)～クラスキノ  
 (ロシア)～ザルビノ等(ロシア)～日本/韓国

# モンゴル東部鉄道網(計画)



## 北東アジアフェリー航路

事業主体	北東アジアフェリー株式会社 (本社: 韓国江原道東草市、社長: ペク・スンホ)
出資者及び出資額	<p>資本金額: 300万ドル</p> <p>汎韓商船(31%、93万ドル)</p> <p>江原道(10%、30万ドル)</p> <p>東草市(10%、30万ドル)</p> <p>(以上、韓国分合計51%、153万ドル)</p> <p>北東アジアフェリージャパン株式会社(16%、48万ドル)</p> <p>琿春泛海国際航運有限責任公司(16%、48万ドル)</p> <p>プリモルアフトランス(17%、51万ドル)</p>



課題:

- ▲ 円滑な国境通過
- ▲ 安定的荷主確保(旅客も)
- (▲ 多国間合併企業の経営)

ERINA

## 大図們江イニシアチブ(GTI)

- ・ 中朝露国境地帯の図們江流域を共同開発する構想として、'90年代初頭に浮上。
- ・ 1995年に「図們江地域開発プログラム」として正式にスタート。以下の体制を整備。
- ・ 調整委員会(中・朝・露)、諮問委員会(中・朝・露+韓・モン)を設置。(日本はオブザーバー)
- ・ UNDP(国連開発計画)が北京に事務局を設置して支援。



(出所)図們江開発事務局HP

- ・ 「共同」開発は断念。連携して開発する方向へ。
- ・ 2003年、大図們江イニシアチブ(GTI: Greater Tumen Initiative)へと名称を変更し、地理的範囲を図們江流域以外にも拡大(右上地図)。
- ・ 五つの協力分野(エネルギー、投資促進、運輸、観光、環境)を設定。
- ・ ビジネス諮問委員会(BAC)を設置するなどして、具体的な成果を目指している。
- ・ 2009年3月運輸部会を設置予定。



(出所)琿春市人民政府HP

ERINA

## 日中韓の協力

### 日中韓物流大臣会合

【目的】 情報交換、意見交換を通じ、北東アジアにおけるシームレスな物流システムの実現を推進すること。

【構成】 国土交通大臣(日本)、国土海洋部長官(韓国)、交通部部長(中国)

【開催】

2006年9月(韓国・ソウル)

2008年5月(日本・岡山)

【実績】

「グリーン物流専門家会合」(2008年12月、東京)

### 「日中韓流通・物流共同報告書」

【目的】 流通・物流分野における産業構造、業界・行政の動向等について共通認識を形成。必要なインフラ、諸制度等の改善を図るうえの基礎。

【窓口】 経済産業省(日本)、商務部(中国)、知識経済部(韓国)

【実績】

2006年3月日中韓報告書第1版発行

2009年3月日中韓報告書第2版予定

### 「国際物流競争力パートナーシップ会議」(2006年～)

【構成】 経済産業大臣、国土交通大臣、経団連等12団体

- ・「東アジア経済統合」、「我が国企業競争力の強化」のため行動計画を策定、実施。
- ・当初、ASEAN中心だったが、2008年に日中韓WGを設置して、取組を強化。



### 3. 課題と展望

取組を進める上での課題	期待される国際協力
<p>● <u>各国間での政策、事業等の整合性が低い</u>            国境通過点での処理能力改善の取組に温度差があるなど、物流基盤整備が整合的に進められていない。            また、車両乗入の制限など、国ごとに制度が違う。</p>	<p>● <u>国際協力プラットフォームの活用</u>            既存の日中韓3カ国の物流分野での協力の枠組やUNDPが支援する「大図們江イニシアチブ(GTI)」を利用して政策調整を図る。</p> <p>● <u>モデル輸送回廊の推進</u>            「図們江輸送回廊」及び「綏芬河輸送回廊」を、関係国が「物流シームレス化先導的モデル輸送回廊」に位置づけて支援する。</p>
<p>● <u>新規ビジネスのリスク</u>            複合一貫輸送事業を立ち上げるにあたって</p>	<p>● <u>モデル輸送回廊の推進(再掲)</u></p>



## 2009NICE物流分科会からの提言

### 【各国中央政府に対して】

- |                   |  |
|-------------------|--|
| 1 国際協力プラットフォームの活用 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●大図們江イニシアチブの枠組みにおける協力</li> <li>●日中韓3カ国の協力の枠組みの活用</li> </ul> |
| 2 国際協力の推進         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●先導的モデル輸送回廊プロジェクトの推進</li> <li>●人材育成等の協力</li> </ul>          |

### 【図們江輸送回廊、綏芬河輸送回廊を構成する地方政府・地方自治体に対して】

- ・輸送回廊の現状及び課題の把握と、情報の共有を行うこと
- ・輸送回廊の利便性などを積極的に広報すること
- ・地域間の経済交流拡大を促進すること



ご清聴ありがとうございました